(年中無休)(朝夕刊)(電話番號 本局 三千番 編輯 三千一番 三千二番 三千三番) 大正七年十一月二十七日 THE KEIJO NIPPO (朝刊 八頁 夕刊 四頁) 第四千三十號 (一)

京城日報

十一月廿六日夕刊 (朝夕併せて八頁)

總督訓示

二十六日總督府に於ける實業學校長會議に於て山縣政務總監の代讀せる總督訓示左の如し

茲に實業學校長を會同し各學校編成の實況を聽取し且必要なる指示を與へるは本總督の滿足とする處なり

實業學校は年を追うて振興の機運に向ひ今や農業學校十七校商業學校一校商業專修學校六校を數するに至りたるは寔に喜ぶべきことなりとす然れども尚非敎育の內容實質に至りては改善を要するもの少しとせず加之世界戰局の影響は其の及ぶ所廣汎にして上下一致益國力の充實を圖り國富の增進に努め以て戰後の經營建設に資すべき要急切なる秋に際し產業敎育の思を忘れに致し世運の進展に順應して施設宜しきを謀り益實用の智識技能を啓發すると共に品性の陶冶に勗め以て實業敎育の効果を完うせんことを期すべし

◇佛軍ブタペスト占領

獨軍チエック軍戰鬪

佛軍はブタペスト(匈牙利首府)市を占領しマッケンゼン將軍麾下の獨軍はチエック軍と戰鬪を開始せり匈牙利ベスチル紙の報道に據ればチエック軍はプレスブルグ市に向ひ退却中の獨軍に對し武裝解除を要求せるも獨軍は之に應ぜざりし爲茲に艦なくも兩軍衝突の端を開きしがチエック軍は鐵道を破壞しマッケンゼン軍の運動を阻止したり(會報電報)

◇聖上御親電

白耳義皇帝陛下に對せられ

天皇陛下には去る二十二日白耳義皇帝陛下に對せられ左の如き御親電を御發送遊ばされたり(東京特電)

朕ハ今ヤ陛下ノ首都ニ凱旋セラルルノ報ニ接シ欣喜ニ勝ヘス茲ニ正義ト幸福ヲ確證スル此偉業ノ完成ヲ見ルニ際シ朕ノ熱誠ナル祝辭ヲ呈ス

白耳義國皇帝陛下

御名

◇獨艦愈引渡

＝日本警備艦行動＝

其筋發電＝獨逸大洋艦隊は二十日よりアイル、オブ、メイ沖にて聯合艦隊に引渡されたり戰鬪艦九隻、巡洋戰艦五隻、輕巡洋艦七隻、驅逐艦四十隻は英國司令官ビーチ提督の指揮により北方スカパフローに向ひたり引渡艦隊は豫定數より各級一隻宛不足なるが輕巡洋艦一隻は機雷に觸れ潛水艇五十九隻は十九日以來三回に亘りて引渡を了せり又獨逸留守艦隊警備の日本艦逐艦二隻は近々同地に著す可く尚アドリアチック海地國留守艦隊觀の日本艦逐艦四隻は二十六日伊太利ブリンリヒ港に到著す可しと(東京特電)

◇英司令官交渉

拒絕

英國海軍司令長官ビーチ中將は獨逸艦隊の代表者に非ずとして交渉を拒絕せり(會報電)

◇親衞軍組織要請

伯林政府は二千八十名の社會黨員兵士に對し政府の爲に親衞軍を組織する非を請へり伯林守備隊は赤衞軍を組織せんとする右の企畫に對し憤慨しつゝあり(會報電報)

◇蘭船印度行期日

和蘭汽船會社は蘭領印度行の第一船を十二月十四日並に二十五日左の通り發令ありたり(東京特電)

伯爾 田中光顯

臨時帝室編修局顧問被仰付

臨時帝室編修局顧問被仰付

渡邊千秋

◇帝室編修局

總裁顧問被仰付

臨時帝室編修局顧問被仰付

◇勤儉貯蓄奬勵

に訓令

二十六日內務大藏農商務四大臣の名を以て戰後經營に就き國民の勤儉貯蓄並に質實の美風を勵奬する爲め各地方長官宛訓令を發せり(東京特電)

◇休戰賀表捧呈

政友會元田總務は二十五日午前十一時宮內省に出頭行幸先に宮內大臣に休戰條約成立の賀表を捧呈方を依頼し直ちに退出せり(東京特電)

◇政友會

政務調査會

政友會にては二十五日午後一時政務調査會を開き今回の講和條約、遞信省、農商務、大藏、內務、中橋の各大臣より所管事務に就き詳細なる説明あり選擧法改正に關しては特別委員を擧ぐる事に決し同五時散會せり(東京特電)

◇松井大使感冒

館員全部襲はる

講和會議列席の大使松井大使は帶べる感冒の爲に行程を繰り日下臥床中にて他の館員も殆んど全部感冒に襲はれ居りきの報其筋に達したりきの說あり(東京特電)

◎何故の廻米遲延

先高思惑の賣惜しみか＝流行性感冒か＝天候に起因せるか＝

米價の前途奈何

朝鮮各地は廻米期に入りてはやはり一月雲を經過せるに拘らず米並に籾豆の出廻りは極めて僅々たるものにして本年の如く米豆ともに近年稀なる豐作を告げし年としては

▲實に異例

と云はざるべからず乃ち米穀廻米期に入り米價の軟調を來さゝるのみならず反對に漸次騰貴を呈せる如き、仁川市場の先限が二十五日後迄に至つて三十圓の關定期市場に於ては高を移せる如きは素より內地の米況も機雷に觸れ潛水艇五十九隻は十九日以來三回に亘りて引渡を了せり又獨逸留守艦隊警備の日本艦逐艦二隻は近々同地に著す可く尚アドリアチック海地國留守艦隊觀の日本艦逐艦四隻は二十六日伊太利ブリンリヒ港に到著す可しと(東京特電)

◇獨艦愈引渡

＝日本警備艦行動＝

其筋發電＝獨逸大洋艦隊は二十日よりアイル、オブ、メイ沖にて聯合艦隊に引渡されたり戰鬪艦九隻、巡洋戰艦五隻、輕巡洋艦七隻、驅逐艦四十隻は英國司令官ビーチ提督の指揮により北方スカパフローに向ひたり引渡艦隊は豫定數より各級一隻宛不足なるが輕巡洋艦一隻は機雷に觸れ潛水艇五十九隻は十九日以來三回に亘りて引渡を了せり又獨逸留守艦隊警備の日本艦逐艦二隻は近々同地に著す可く尚アドリアチック海地國留守艦隊觀の日本艦逐艦四隻は二十六日伊太利ブリンリヒ港に到著す可しと(東京特電)

◇支那側の主張

講和に關する

支那政府にては陸外交總長を全權委員として講和會議に列席せしめ支那側の講和條件として(一)領事裁判權の撤廢(二)關稅改正(三)東蒙古西藏の開放等の問題を提出すべしと傳へらるゝが右は

▲支那側の主張

として何れも當然の事に屬し領事裁判權の撤廢は既に各國との通商條約に依り北越自治を認め完成の暁は統一改正其他必要なる設備完成後考慮すること、なり尚各國に於ても漸次撤廢に傾き其他關稅改正は支那の希望に依り北京政府

勅使發遣の御儀

天皇陛下出御

宮中鳳凰間にて御擧行

各勅使神宮、山陵に向ふ

◇再製する

本年は暴風の影響を受けて食鹽の製産額が非常に少く全國を通じて平年より約二割方減少してゐる加に石炭が暴騰の上に勞銀まで騰貴した爲め自然内地鹽の小賣値ひとなつた樂内地鹽は過剰して居たものであつたが今日は

◇不足勝

となり殊に需要が増加する爲め年々三百萬斤は需應なしに能率を擧げなくてはならない鹽は外の雜貨品と違ひ生活上缺

くべからざる物であるから止むなく最近鹽業聯合會等が鹽を輸入して内地で再製することに決定し取敢ず赤穂で十二月十三日迄に百萬斤を輸入し是れを

◇再製する

事になり既に其一部は送られ再製方法は鹽水に外鹽を溶解して鹽田にかけると自然の結晶に依ると自然品質に差が出て來るが普通三等塩の時價百斤に付き七十三錢あるから今度赤穂でやるのみでも既に三萬圓内外の利得を見る事ができる他の地方に於ては製塩業者と政府との間に未だ具體的の契約は成立せずまた再製に着手しないが近日中に實行の運びに至るであらう（神戸）

◇唯一人獨逸に踏み止つた鮮人哲學者

加平郡守の實弟金重世氏

十一年前留學して伯林大學を卒業

無事と知れて家族は大喜

休戰になつた今日、單身敵國獨逸に踏止つて居た唯一人の鮮人學者が居る事が判つた、市内光化門前に私宅を有つて居る金重世氏が即ちそれである、氏は本道加平郡守

金世氏の實弟で今年三十二歳、夙に東京の某私立大學に學び英語獨逸語を修めて米國に渡り米國から更に獨逸へ渡つた、それが今

◆十一年前

のことであるから、獨逸へ渡つた氏は直ちに伯林大學の哲學科に籍を置き傍ら長年敵國人として

他強して居る中端なく歐洲戰亂が勃發し亜いで我邦が獨逸宣戰を布告するやうになつたので一時

敵國人として

◇牢獄に繋がれた、現來全く消息絶ち唯僅に風の便りに投獄後三週間にして釋放された相なと云ふことが判つた丈であるその後暫くしてそれは昨年の事であつた――日本人として一番最後に獨逸を引揚た外國語學校教授辻氏によつて、金氏が一昨年首尾好く伯林大學を卒業し同時に同大學の

◆助教授に

任ぜられた相なと云ふことを傳へられたが、それからは又消息不明となり、その年獨逸の實家から米國大使館の手を經て大枚な金子を送つたけれども生か死か、氏からは何の音沙汰もなかつたので一門家族は且夕悲歎の涙に暮て居た、ところがツイこの程在西班牙大使館は本國政府の手を經て我外務省に對し意外なこの報を傳へたるが當時飛行機は約一萬五千呎の高空に在りたり又在佛米軍飛行機にも同機の裝置を施すの試驗を試みたるが此の事實は最近迄秘密に附せられ居たり（東京特電）

◇菊の御袈裟

三宮殿下より温子姫に

十二月八日得度式を行はせられる村雲尼公の後嗣温子姫に對し此程伏見、閑院、東伏見三宮殿下から侍藤に菊花御紋章入りの袈裟を御下賜になつたので姫は只管行ひ濟まし

后陛下にも近く御下賜品あらせられる筈である尚行得度式は本來ならば眞夜中に行はれる例であるが今回は三宮殿下御參列の御都合上午前十時から行はれるさ（京都）

◇無線電信で

飛行機

に命令を傳ふ

一萬五千呎の高空に

華盛頓米電＝大統領ウィルソン氏は此の程無線電信を以てポトマック河上を飛行中の飛行機に對し命令を傳へたるが當時飛行機は約一萬五千呎の高空に在りたり又在佛米軍飛行機にも同機の裝置を施すの試驗を試みたるが此の事實は最近迄秘密に附せられ居たり（東京特電）

◇内地で……

外鹽を、

◇再製する

本年は暴風の影響を受けて食鹽の製産額が非常に少く全國を通じて平年より約二割方減少してゐる加に石炭が暴騰の上に勞銀まで騰貴した爲め自然内地鹽の小賣値ひとなつた樂内地鹽は過剰して居たものであつたが今日は

◇不足勝

となり殊に需要が増加する爲め年々三百萬斤は需應なしに能率を擧げなくてはならない鹽は外の雜貨品と違ひ生活上缺

くべからざる物であるから止むなく最近鹽業聯合會等が鹽を輸入して内地で再製することに決定し取敢ず赤穂で十二月十三日迄に百萬斤を輸入し是れを

◇再製する

事になり既に其一部は送られ再製方法は鹽水に外鹽を溶解して鹽田にかけると自然の結晶に依ると自然品質に差が出て來るが普通三等塩の時價百斤に付き七十三錢あるから今度赤穂でやるのみでも既に三萬圓内外の利得を見る事ができる他の地方に於ては製塩業者と政府との間に未だ具體的の契約は成立せずまた再製に着手しないが近日中に實行の運びに至るであらう（神戸）

◇日本思想確立の時

青年の思想教育について

大都市聯合教育會で研究

思想根本が確立すれば歐米の影響は受けない

◇日本は古來民本思想の國

世界大戰の終結が齎す思想上の激動が社會教育に重大な問題を提起しつゝある折柄、第三回大都市聯合教育會は二十二日午前九時から三日間神田日本弘道會館に開かれ、第一日は會長高木東京市教育會から挨拶を始め東京市教育會から挨拶、第二回郡市國民教育會から各三名、神田、仙臺から各三名、京都、大阪、横濱、金澤から各二名、京都から一名の代議員出席して

▲數箇條の

議題を委員附託にしたが其の内左の三議題は思想教育の問題だけに最も注意を惹いた

▲思想界の動搖に對する教育上の處置に關するものであるが、一寸私共が考へて見ると今日になつて斯る問題を提出した處で果して其の方法まで徹せられるか疑ひなきを得ぬ、物には何でも順序が必要である、一言に言へば民が日常心得べき事は既にその國民の頭腦の中になければならない今世界の或る處に斯う云ふ事があり、其が斯う云ふ風に影響しはしまいかと心配するのはもさから植ゑ付けられてあるべき思想の種を蒔付け方が悪い事を自白するものである其根本の思想をもつと

▲深く植ゑ

付ける外に方法があるまいと思ふ、大都市青年の不健全なる思想丈なら云ふのは果して歐米で云ふデモクラシーその事を指すか何うか知らぬが民本主義なら日本にも古くから「諸々の御言を以て」と云ふ事があるが、これも衆の心を以て

▲衆の一致

する所を以て衆の意味であらう、我國民教育の根元は既に古代から存するし教育勅語の中には更に秩序立つて仰せられたのであるが

▽御奮闘振

りは實に十萬の將士をして感嘆せしめたので而も王世子殿下の此大演習參加は實に

◇「余は唯一

なればと勸むる御乘馬を辭されて

王世子殿下演習中の奮戰

李王世子殿下の大演習に於ける奮闘振りに就て某武官は語んで語る

此度の大演習は先づ其第一日より車軸を流す許りの大降雨で而も最後の決戰の日即ち第四日目も雨で

あつてさしもの勇卒をして大いに苦しましめたのであるが武に誇る帝國の干城は是れをしも苦痛とせず目出度終結を告げたのである李王世子殿下には此の大演習に近衛第二聯隊の小隊長として參加せられたのであるが其

▽御奮闘振

りは實に十萬の將士をして感嘆せしめたので而も王世子殿下の此大演習參加は實に

◇御奮戰中の李王世子殿下

二十日の午後四時半急御歸營に際して御疲勞の御顔色は少しも

なく猶御元氣横溢の御狀態であつた殿下が第二聯隊の營舎を一隊毎に出られたのは六月の三日の午前四時折から降り續く雨は宛然

▽戒衣は忽

ちにして裏を濕され其行軍の艱難は言外のものであつた近衛第一聯隊の假設敵演習に引き續く演習の第四つ目で其間二十日ぶいふものは寝食さへも充分

に撮る暇はなかつたのであつたが二十日の午後四時半急御歸營に際して御疲勞の御顔色は少しも

なく猶御元氣横溢の御狀態であつた殿下が第二聯隊の營舎を一隊毎に出られたのは六月の三日の午前四時折から降り續く雨は宛然

▽戒衣は忽

ちにして裏を濕され其行軍の艱難は言外のものであつた近衛第一聯隊の假設敵演習に引き續く演習の第四つ目で其間二十日ぶいふものは寝食さへも充分

に撮る暇はなかつたのであつたが二十日の午後四時半急御歸營に際して御疲勞の御顔色は少しも

なく猶御元氣横溢の御狀態であつた殿下が第二聯隊の營舎を一隊毎に出られたのは六月の三日の午前四時折から降り續く雨は宛然

▽橋梁守備

の大任を負つたのが昨日殿下の中隊であつた十日の午前三時頃敵は坐ろに動搖して北條の方へ退却を開始したので一部隊は是れを追擊したが其不到なるを悟つた殿下の隊は九日夜

を過ぎて北條の方へ退却を開始した敵の

★イルクツクの劇場

にある外壁は黄と紅との調和よき色で中々堂々たる建物である此の頃は冬の夜長に毎夜のやうに芝居がある、外の廣場には樅や松の樹立に雪が積つて淘に快よき眺めである

撮寫者　金谷眞撮影

劇場は公園附近の樹林の中

◎安東縣名産の柞蠶絲工場を觀る

安東縣にて　鄭山生

一日安東縣七番通りにある興東公司の柞蠶絲工場を見せて貰つた柞蠶絲は安東縣の重要物産で木材に大豆油豆粕と相並んで最も注目すべき產物であつて一箇年の生產額は一千萬圓乃至一千二百萬圓内外を稱せらる、現在安東にある柞蠶絲工場の數は一萬五千で來年解氷期迄には二萬三千に達するこゝ云ふ見込である

◆製絲の方法◆

同公司の製絲方法は全然支那式に則つたものだ相で最初市場から買つて來た山繭を一萬二千位宛を一釜として特種の藏籠に入れ八時間乃至九時間位蒸すのであるが是を支那人は煮繭と謂つて居る此の煮繭が濕むと一種の原始器にかけて水分を飛つて揚場に廻る揚繭は一箱で八本が二枠是れが普通製絲の一日日程作業と極つてゐる

◆それから何うするか◆

職工は揚繭より受け取つた百十五粒入りの一箱から口絲のお粗末の處を取り去る之を太撚こゝ云ふ其の大に出て來る層絲は二撚こゝ云ふ相な職工は兎て揚頭を器用に動かして外周向絲になるこゝ七粒を一口とするこゝ云ふ事である半日の仕事は四本の一枠宛を把繭より受取つて四箱を約半日の仕事となる相な

◆器用こゝ不器用◆

同じ職工でも手先の器用な者こゝ不器用なのこゝそれに熟練の巧拙によつて其仕事の時間に大分の相違がある極上等の職工になるこゝ年後二時間には八本二枠を仕上てサッサこゝ遊びに出たり轉んだりするが時間が剩つたからこゝて第三枠目に著手する事は絶對にないこゝ云ふ

◆至極手輕に◆

斯んな工合で枠に取れた絲は枠の儘に乾燥室に廻されて火力乾燥を受ける其時間が十二時間殆んこゝ水分なるものがなくなる裝置は滑突式で煙瓦電氣加熱したもので至極入念には出來て居る而單である此の乾燥室に乾燥されたものは檢査室に送られて絲質や大小、光澤其他の條件を具備して居るや否やを檢査せらる、事となつて居る

◆立派に通る◆

其の檢査は赤到つて簡單で何等の器具も器械も要しない唯の肉眼檢査であるが此の檢査に合格したものは米國行きでも佛國輸出向きでも無論する事はない相である檢査か濟んだ絲は直ちに捲られて束となり一束二十個は壓搾裝置に締られて大束となり商標が附せられる此の大束一個は約五斤で四十束を一梱として厳重な結束となつて內地へ送られる

◆柞蠶の屑絲◆

暖ち太繭、二繭は內地に送られて更に整理せられて紬絲となり又中から出て來る蛹は上等の分は食料として支那人に賞美され不純なこゝのや根据したものは內地に送られて油が取れる其の油は石鹼の原料となり其の赤殘滓は肥料に用るられる此の山繭から出る凡てのものは一物こして廢物こなるものはないこゝ云ふ事を歎へて貰つた

◆職工の手間賃◆

最後に職工の賃銀はこの位です

揚繭	一箱　二錢
口絲	一箱　二錢
撚絲	一箱　二錢
揚繭	一箱　二錢
揚繭	一箱　二錢
揚繭	一箱　二錢
揚繭	一箱　二錢
揚繭	一箱　二錢

◎慶祝戰捷期日

歐戰停息し獨逸降利明かなれば奉天は盛に慶祝の意を表したるも支那中央政府に於ては這回休戰に關し尤も重大視し更に二十八二十九三十の三日間正式に全國慶祝を挙行すべく嚴しく電達し來れるを以て省公署に於ては內務部よりの來文に司時に各界に對し同日に挙せば命令に遵照し大いに慶祝の意を表すべしこ（奉天）

◎蜜柑ご千物

◆奉天市場に於る市況◆

◆蜜柑◆

奉天到著日本蜜柑は第一回市場會社購買一組（小箱四つ合せ）金八圓五十錢第二回南海行所著一組洋六圓第三回は各店舗に現著したるを以て組場は下落し一組平四圓五十錢を以て販賣しつゝあり而も奉天に根據を有せざる振賣業者は昨日四圓三十錢を以て買知し今日に至りては四圓二十錢四圓四十錢こ下押し相場にて手の改良により燃料を節約すること主張するものである、即ち從來の鐵の故改造して單に新のみこゝ云ふ目下鐵製七番通りにある興東公司の柞蠶絲工場を見せて貰つた柞蠶絲は安東縣の重要物產で木材大豆油豆粕と相並んで最も注目すべき產物であつて一箇年の生產額は一千萬圓乃至一千二百萬圓內外を稱せらる、現在安東にある柞蠶絲工場の數は一萬五千で來年解氷期迄には二萬三千に達するこゝ云ふ見込である

◎慶祝戰捷期日

歐戰停息し獨逸降利明かなれば奉天は盛に慶祝の意を表したるも支那中央政府に於ては這回休戰に關し尤も重大視し更に二十八二十九三十の三日間正式に全國慶祝を挙行すべく嚴しく電達し來れるを以て省公署に於ては內務部よりの來文に司時に各界に對し同日に挙せば命令に遵照し大いに慶祝の意を表すべしこ（奉天）

◎誤られたる前極東太守

ゴンダッチ氏を知れるは曰く

ゴンダッチ氏も革命に共に奉天會の鐵道の賣却其の他の問題に關し尤も重大視し更に二十八二十九三十の三日間正式に全國慶祝を挙行すべく嚴しく電達し來れるを以て省公署に於ては內務部よりの來文に司時に各界に對し同日に挙せば命令に遵照し大いに慶祝の意を表すべしこ（奉天）

◆奉天市場に於る市況◆

◆蜜柑◆

奉天到著日本蜜柑は第一回市場會社購買一組（小箱四つ合せ）金八圓五十錢第二回南海行所著一組洋六圓第三回は各店舗に現著したるを以て組場は下落し一組平四圓五十錢を以て販賣しつゝあり而も奉天に根據を有せざる振賣業者は昨日四圓三十錢を以て買知し今日に至りては四圓二十錢

◆鹽魚◆

目下二百噸以上の鹽鮭を有する奉天の市場は朝鮮方面よりの小口地魚入荷は盛く搬出なり殊に相當の利益を見たる鹽鮭の如きも近頃大暴落を見百斤十二圓を出でず品質不良のものに至つては百斤七八圓にて投賣するの等あり鹽鮭の如きは依然として百斤十三圓を唱へ相當利益ありこゝ云ふ目下鹽鮭相場は現金大取引百斤十二圓五十錢半月掛賣百斤十三圓見當なり寒氣厳冬に入り道路氷結し鹽魚運搬の出來ざる時は百斤十二圓見當なり寒氣厳冬に入りては

商況

東京株式特電

二十五日前場

先限引値		
東京株式取引所	二八〇〇	二八〇〇
同新株	二一〇〇	二一〇〇
同鉄道	一五七〇〇	一五七〇〇
同新株	七五、五〇〇	七五、五〇〇
第一新株	二一〇〇	二一〇〇
第二新株	七六、五〇〇	七六、五〇〇
利益配当株	二一、三〇〇	二一、三〇〇
伊藤製糖	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇
帝国製糖	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇
東京瓦斯	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇
大阪株式取引所	二八〇〇	二八〇〇
同新株	二一〇〇	二一〇〇
同鉄道	一五七〇〇	一五七〇〇
同新株	七五、五〇〇	七五、五〇〇
同紡績	二一〇〇	二一〇〇
合同紡績	七六、五〇〇	七六、五〇〇
東洋紡績	二一、三〇〇	二一、三〇〇
大阪瓦斯	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇
東洋製罐	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇
同紡績	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇
同新株	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇
同鉄道	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇
同新株

(毎月曜日休刊)(明治三十七年八月十日第三種郵便物認可)　THE KEIJO NIPPO　(大正七年十一月二十七日)　第四千十三號　(一)

京城日報

電話 編輯局 番外 二〇〇 / 二〇一 / 二〇二 / 二〇三 / 二〇四 / 二〇五 / 二〇六 / 二〇七 / 二〇八 / 二〇九 / 二〇十 / 二〇十一 / 二〇十二 / 二〇十三 / 二〇十四 / 二〇十五 / 二〇十六 / 二〇十七 / 二〇十八 / 二〇十九 / 二〇二十 / 二〇二十一 / 二〇二十二 / 二〇二十三 / 二〇二十四 / 二〇二十五 / 二〇二十六 / 二〇二十七 / 二〇二十八 / 二〇二十九 / 二〇三十 / 二〇三十一 / 二〇三十二 / 二〇三十三 / 二〇三十四 / 二〇三十五 / 二〇三十六 / 二〇三十七 / 二〇三十八 / 二〇三十九 / 二〇四十 / 二〇四十一 / 二〇四十二 / 二〇四十三 / 二〇四十四 / 二〇四十五 / 二〇四十六 / 二〇四十七 / 二〇四十八 / 二〇四十九 / 二〇五十 / 二〇五十一 / 二〇五十二 / 二〇五十三 / 二〇五十四 / 二〇五十五 / 二〇五十六 / 二〇五十七 / 二〇五十八 / 二〇五十九 / 二〇六十 / 二〇六十一 / 二〇六十二 / 二〇六十三 / 二〇六十四 / 二〇六十五 / 二〇六十六 / 二〇六十七 / 二〇六十八 / 二〇六十九 / 二〇七十 / 二〇七十一 / 二〇七十二 / 二〇七十三 / 二〇七十四 / 二〇七十五 / 二〇七十六 / 二〇七十七 / 二〇七十八 / 二〇七十九 / 二〇八十 / 二〇八十一 / 二〇八十二 / 二〇八十三 / 二〇八十四 / 二〇八十五 / 二〇八十六 / 二〇八十七 / 二〇八十八 / 二〇八十九 / 二〇九十 / 二〇九十一 / 二〇九十二 / 二〇九十三 / 二〇九十四 / 二〇九十五 / 二〇九十六 / 二〇九十七 / 二〇九十八 / 二〇九

佛國耳を敵とするも 戰爭再開の見込なし

ヒンデンブルグ元帥の警告

ヒンデンブルグ元帥は獨逸總司令部に打電して曰く『敵國側休戰商議委員中特に佛國委員は態度誠實を缺き絕對に不可能の事項を要求し戰爭再開の口實を求むるに努めつゝあるが如し』尚ヒンデンブルグ元帥は本國政府に向ひ佛軍のみを敵とするも獨軍は到底戰爭を再開するを得ざる旨警告し最後に敵國側諸政府は唯獨逸人の多數の救助を有する獨逸政府と講和を締結せんとするものなるや明かなりと述たり(倫敦電報)

◇休戰條項緩和要望

獨外相四國政府に通牒

巴里特電=獨逸外相は聯合國の休戰條件はライン左岸と右岸この經濟的關係を危殆ならしめ其他休戰條項緩和を得るに非ざれば到底獨逸國の存立も危險なる過激思想に感染さるゝに至る可く之れが救濟策として休戰條項を緩和されん事を望み九箇條を擧げ之れを英佛伊米四國政府に通牒したりと(東京特電)

◇我監視艦到著期

英國北部某港に抑留せる獨逸軍艦及びアドリアチック海方面に抑留せる墺國軍艦の監視は聯合國海軍中より其任務に當る事となり居れるが我國よりは地中海派遣中の巡洋艦及び驅逐艦二隻を英國に派遣し又他の驅逐艦巡洋艦監視の爲の派遣の筈には右四隻は廿六日頃伊太利南部のブリンヂッと港に到著の豫定なりと(東京特電)

◇リ公露全權委員

目下諾威滯在中のリゴフ公は露國を代表し其全權委員として講和會議に臨む可しと明持さる(紐育電報)

前獨帝歸還せず

基爾發電=和蘭ペンチング伯爾に滯在中なる獨逸前帝は最近伯林に歸還す可しとの說あるも眞實ならず目下一個人の資格を以て蘭國政府より待遇せられ其間蘭に於て政治的運動を爲す者に對しては嚴重なる取締を爲しつゝあり(東京特電)

◇民主黨成立可能

獨逸國民自由黨と進歩黨と進歩黨と自由黨との聯合より成る民主黨の成立は可能なる如し一方保守黨と自由黨との連盟成立し幾分進歩的色彩を帶ぶるに至れり(巴里電報)

◇米軍普魯西進入

米軍は獨逸所の地點にて獨逸國境を橫斷せり信號隊及び救護班は材料を積める若干の車輛を驅りて普魯西に進入したるが同地人民は米軍に對し慇懃を極めたりと(紐育電報)

◇米送獨食糧抑留

フォルヴェルツ紙の所報に曰く米國は獨逸が自由主義の政治を實施し且つ物資の公平なる分配を保證する迄獨逸へ送る可き食糧を抑留しつゝありと(倫敦電報)

◇棉花制限撤廢期

米國棉花輸出制限撤廢は十二月二日より施行さる可し(紐育電報)

◇英外務次官辭職

英國外務次官ロバート、セシル卿はヴェトルス國壓廢止問題に關し政府と意見を異にし現職を辭せり(倫敦電報)

◇果實類輸入自由

十一月二十一日以後三箇月間英國は果實罐詰、蔬菜、砂糖、石鹸の輸入自由となれる旨山崎總領事より來電ありたり(倫敦電報)

◇英首相 保護貿易聲明

ヒンデンブルグ元帥の見込なし

英所發電=ロイド、ジョージ、ボナーローの兩氏は來る可き總選擧に際し聯立內閣の執る可き政綱を二十二日發表するが其中には『政府は重要工業に對し必要に應じ之を維持保護するの考へなり又英國市場に於て外國品の不公平なる競爭に對し英國產業を確保せざる可からず』と言ひ保護貿易を聲明せり(東京電)

◇停戰命令公布理由

廣東電=政府が停戰命令を公布せるこゝは既電の如くなるが右は二十日の政務會議にて穩和派の勝利となれる爲め南北兩派より上海平和會議に出席す可き人物は北方派李純、梁士詒、唐紹儀、唐繼堯、陸榮廷等たるものゝ南北兩派より上海平和會議に出席す可き人物は北方派李純、梁士詒、唐紹儀、唐繼堯、陸榮廷等なるべしと(上海電報)

◇平和會議員顏觸

支那の南北平和會議委員は來月上旬迄に決定せざるも李經羲、馮國璋、前、元洪、岑春煊、張勳、孫洪伊、又は孫文氏等が會議に出席す可き人物なるべしと(東京電)

◇明年一般會計豫算案

明八年度一般會計豫算案は廿八日臨時閣議閣議上議の事に決定せり尚植民地特別會計に關する分は未定なるも多分十二月末なりと(東京電)

◇豫算會議完了

豫算會議は二十六日を以て一先づ完了せり(東京電)

◇外調會開會期

臨時外交調査會は多分二十七日頃開會さる可し(東京電)

◇戰時中の事業(上)

計畫總資本四十六億

世界大戰當時經濟界は一時混亂せしも其後世界の戰時狀態に適應するに從ひ漸次回復に向ひ戰爭開始の翌年即ち大正四年には既に經濟界を脫戰ならしむる傾向を生じたり蓋し歐洲各國戰國は我國に對して盛んに軍需品の需要を喚起したるが上彼等は戰前東洋市場に占有せる經濟上優勝の地位を戰爭の爲め利用し得ざるに反し我製品は之に代りて海外市場に需要せらるゝに至り其結果輸出の大盛況となりて外資の流入高を空前の巨額に上らしめたればなり斯くて戰爭の繼續すると共に我經濟界は益々活潑を呈し內に於ては企業の大勃興に上り其大正四年一月より本年十月迄の總額は日本銀行の調査に依れば實に四十六億六千八百九十二萬餘圓に達せり其の各年計畫資本左の如し(單位圓)

年次	計畫資本額
大正三年	二五〇、七九七、〇〇〇
同四年	二九二、五八四、二五〇
同五年	六五八、九七四、〇〇〇
同六年	一、五六二、五三〇、〇〇〇
同七年	四、〇〇一、一五三、〇〇〇
計	七、〇〇一、一五三、〇〇〇

即ち第一計畫資本の增加は大戰突發の翌年たる大正四年より漸く萌芽を發生し大正五年に入りて其の勢を增し大正六年後に於て確出せり就中大正五年を絕頂とし其後は減少の傾向を示し繼續第一位に立つ繼續は

○猶太國復活か

神の選民と自信せる民族

宗教上の信念に政治思想を加味し全世界に離散した同胞を糾合して……

永い眠りより醒めて眞に起つか？

全露政府は烏拉爾チオニスト會議代表者を引見してパレスタインの土地に猶太國再興の議を歐洲平和會議に提出せんとの報あり多年各民族より蛇蝎の如く毛嫌ひされ呪詛されたる猶太人の悦びは甚麼であらう在京中のニコライ教會管轄師某氏談る『地中海に面したるパレスタインの土地へ猶太人が離散以來二千餘年つて居ると昔よ事を成消息通から聞きました猶太國は全く悲慘なもの國家の存在を失つた同國の人民は露國を中心として世界各國に離散した。彼等は最早國家的觀念をスッカリ忘れて了つたのではないかと思はれた、從つて

▲猶太國建設の運動が開始されたと云ふことは意外な珍らしい話です。一體猶太人は宗教上誤つた思想に捉はれてゐる民族で彼等は常に神の選民と心得居る人を非常に輕侮の眼で見て居るといふ自尊心の非常に強い民族です而して早くメシヤが天降つて猶太國を再興して貰ひたいと迷信的に祈つてゐるものが澤山ある然し左樣云ふ古い思想を脱して稍

▲新い思想を有するものは彼等特有の宗教上の信念に政治思想を加味し全世界に離散した同胞を糾合して茲に猶太國の復活を企て、居る者があつて現に露國の過激派中にも猶太人が混じりレニン内閣の閣員に列し而して彼等が祖先傳來受つて來た露國の壓迫に對する復讐手段として内政を紛亂せしめ專制政治の轉覆に努めたのであります、此革命騒ぎに乘じて彼等は莫大なる富を奪つたでせう并は受けないです、何ぞなれば如何なる不義不正を働く共、

▲神は吾等を援くる爲に許されたるものなりとの觀念は夢醒せざる同人種の頭に先天的に注入されて居るのである、斯んな思想は宗教上の信念に政治思想を加味して全世界に離散した同胞を糾合して茲に猶太國の復活を企て、居る者があつて現に露國の過激派中にも猶太人が混じりレニン内閣の閣員に列し而して彼等が祖先傳來受つて來た露國の壓迫に對する復讐手段として内政を紛亂せしめ專制政治の轉覆に努めたのであります、此革命騒ぎに乘じて彼等は莫大なる富を奪つたでせう并は受けないです、何ぞなれば如何なる不義不正を働く共、

▲神は吾等を援くる爲に許されたるものなりとの觀念は夢醒せざる同人種の頭に先天的に注入されて居るのである、斯んな思想は宗教上の信念に政治思想を加味して全世界に離散した同胞を糾合して茲に猶太國の復活を企て、居る者があつて現に露國の過激派中にも猶太人が混じりレニン内閣の閣員に列し而して彼等が祖先傳來受つて來た露國の壓迫に對する復讐手段として内政を紛亂せしめ專制政治の轉覆に努めたのであります、此革命騒ぎに乘じて彼等は莫大なる富を奪つたでせう并は受けないです、何ぞなれば如何なる不義不正を働く共、

○小學校の卒業生

家庭に入るものは極少數

中學校へ!!女學校へ!!

世が進んで來るにつれて普通教育を受けたのみで滿足せず進んで中學校へこの學校にこの希望する者が年々非常な增加を來して居る事は各種中等學校の入學受驗者がその定員の二倍若しくは三倍に及ぶのを見ても明かであるが京城に於てもその希望者は七年度に比して遙かに

◆◆增加を示して居る今日之世櫻井、東大門、鍾路、南大門、西大門の六小學校に就てその大體を調査して見ると高等小學に入學する者及び家庭に入る者は概ね少數であつて中等學校入學志望者が約四百二十名あるこれを學校別にして見ると中學校が百二十名商業學校が四十五名高等女學校が百三十數名技藝學校が三十名位である

◆◆中學高女は龍山を除いて只京城市内だけで募集人員に超過して居るの大好況である志望者中女子では南大門の六十九名男子では日之出の五十二名が最多數で東大門は學校が新しいためか男女共に少數である

▼大變だと云ふので特權打ち毀し手段として第一番手に淡水長崎間の布設權を買收し更に京城釜山間の布設權を十萬圓で買收にかゝつた然るに會社の力では日本が滿洲に於て敷設線を繰て歐亞に直接通じられては困ると云ふので前の特權を楯に拒んだが漸く折合つて布設するを得た北滿事變の前呼子ヶ破間買收し續いて對馬間を買收するを得たが釜山迄は何うしても會社が承知しなかつた然るに又々日露の役が始まつて困る事となつたが其の時は既に日本大連線が布設されてあつたので

▼辛うじて會社の手を借らずに濟んだ而して最近に於て釜山對馬間を漸く手に入れ之れにて始めて日本朝鮮間通信に一新紀元を作つた斯り如き歴史を持つた日本の海底電線は今では關釜間に帝國ホテル大阪、東京の三線と會社から買收したボロ〳〵線と都合四線を有し、今回の布設を以て五線となつた尚來年度末には東京大連線が布設せらるゝ筈である兎に角線を有する譯である

▼海底線を布設して終つた當時の電報料金は實に高いもので日本から釜山迄が一語信七字四十錢であつた然るに困つた事には其後日露戰爭が起り北滿、日露の戰爭が起り外國人のやつて居る會社に委ねねばならぬ事となつた事である之れには當局も餘程困つて種々策を弄して見たが止むを得なかつたので不完全な暗號を使つて電報打ちたものだが之れで始めて眼が覚めた日本は大切な通信機關の特權を外國の一會社に占められて居ては

▼「明治初年」の頃たつた一記憶する丁抹の大北部電信會社が東洋に於ける電線布設特權を露支韓の三國に得たから日本でも許可して貰ひ度いと申込んで來た當時の

◇冬の朝

○海底電線

丁抹の電信會社に困らせられた

今日釜山第五線を敷設し得て今昔の感慨が深いと服部局長談る

京城東京間の新線が竣工する釜山百五十浦里の海底線の沈設は廿四日を以て終了したとである之れで釜山、下關間の海底線は五線となつた然て釜山迄の線は名ばかりで實は一線に過ぎない、何とか早く得る事であらうと思つて何時迄も待つて居たが一向に會社の許可なく海底線の布設は絶對に許さぬと云ふ馬鹿氣た情勢で遂に許可なく海底線の布設は解決し、今日の布設に漕ぎ付けたのである

◇にはこんな失敗談がある!!

◇敗談がある!!

○家庭の注意を望む

小學生教育について

『小學生教育に無理な注入主義は毒だ』と云ふ小學生獨習問題に關する本紙の記事に對して横山西大門校長談

『横山西大門校長談』

今頃の日の短い時に無理な注入主義は決して禁物だ、今頃の記事があつたが私は決して現在の京城における小學校には有り得べからざる事と思ふ、二三年前までは東京を初め各地共盛んに注入主義を取つたものだがそれも强て云はすれば

▽…家庭の要求に依るものであつて擔任教師には責任生徒の家庭から特別手當まで附してあつた、けれ共中等學校に入る際に無理をして入學した者は必ず高等學校に進む時には失敗するのみならずその子は身體を害して一生取返しのつかない事になる事を悟つてからは決してそんな無理な事はやらないしまた學務局の豫習するなの主義も昨今に注意を受けた理由でもないのだから家庭の教育當事者から云はすれば家庭の注意をこそ

○空中輸送に成功

米國では空中郵便の切手發行

米國空中郵便飛行機附リブスナー大尉は郵便物を輸送する大西洋岸より太平洋岸迄最初の飛行に成功せる旨發表せり右飛行は十一月十八日巴奈馬運河呼のクリストバルを發し一時間四十五分にてペルボアに着せるものにして米國にては右空中郵便に用ふる切手特別十仙切手發行されたり（市俄古電報）

○火の手益々擴大せん

晉州の大疑獄

慶尚南道河東郡の鮮人富豪某方に四十萬圓の財産爭ひより晉州學校組合顚末理事石井新曉、護士原田貞遠檢事は是に神出鬼没して不正行爲ありたるもの、如く廿四日突然其筋に拘引され家宅捜査を受けたるが右は同地方に於ける未曾有の大事件として險事局は力瘤を入れて活動し居れりが火の手擴大すべく險事一段落の上は釜山地方法院に於て審理を遂くる筈（釜山電話）

○鴨江結氷近し

鴨綠江は二十三日午後より流氷を見つゝあり或は二三日中に結氷を見るに至るべし（新義州特電）

○新しき村

日向の山奥に六町歩

鳩鷺鶯を友に

が決つた

▼『しき村』を建設すべく武者小路氏が志一名と共に日向國兒湯郡木城村の城を中心として然るべき地を探して居つたが是

○電車照明燈

二百燭光のもの

敷設を命ず

他市の電車線路に比して京城電車線路は夜間暗きに失し危險なりとの輿論あるより京城電氣會社にては滿鐵に對し電車線路に沿ひ京城電氣會社に對し電車線路に沿ひ最も光輝ある二百燭光以上の電燈敷設を命ずる筈なりと云ふ（京城電話）

○家庭の注意を望む

小學生教育について

『小學生教育に無理な注入主義は毒だ』と云ふ小學生獨習問題に關する本紙の記事に對して横山西大門校長談

『横山西大門校長談』

今頃の日の短い時に無理な注入主義は決して禁物だ、今頃の記事があつたが私は決して現在の京城における小學校には有り得べからざる事と思ふ、二三年前までは東京を初め各地共盛んに注入主義を取つたものだがそれも强て云はすれば

▽…家庭の要求に依るものであつて擔任教師には責任生徒の家庭から特別手當まで附してあつた

▼「自分の子のみは入學」

▼「自分の子のみは入學」

▼「自分の子のみは入學」

竹と子

三十四

北島春石作 森田久畫

菊日和

江戸名物の一つとして、晩秋を彩る團子坂の菊は、國技館の開二度遅しに人を惹はれて測浴し、歳々に大相撲と共に人潮増す盛況を見せたが、過ぐる年の失火にお隣の回向院まで類焼のうき目を見せて目下再築中で、遊び好きの都會の人々は、王子や瀧の川の紅葉のみでは氣が濟まず、今年の秋の淋しさを嘯ち餌の折から、東京市が主體となつて、日比谷公園に菊の大會が催された。

その菊に好き日の嘯つづく一日楽地から音山行きの電車が日比谷で停まると、滿員の人波を掻分け〳〵、やつさの思ひで下車した二人連の男がある。

こゝは乘降場所で四通八達、いづれの方面かも駛來る電車も悉く滿員で、その七八分までが菊見の人々であるから、公園の入口は真黒な人だかり。

『何うですな！高松さん、この人出は。』と、同伴の男に聲をかけたのは、人形町のビヤホールでお馴染の紳士であつた。

『いくらロハほど安いものはないにしろ、菊見に出かけるとなれば電車も煙草錢も入るのに……まつたく素晴らしい景氣ぢやごわせんか。』

『ふゝむ！滑な米の値段を知らぬやうな面付だ。』と、高松は忌々しげな舌打ち高く『これだから、生活にもなりますぜ。』

『そんな無駄な際があるものか。』と、銀平は憐々した歩調でお伴に沿うて行く『今日の金談が首尾好く纏まつたらば、約束の報酬は元よりの事、自動車に一打も奢を積んで押し出すまでは菊見もお止かりだ。』

『何有、先方に巧く吹き込んでおいたから、その吹聴は御無用に願ひたいが……』と、猪狩も肩を並べて歩きながら『然し、無抵當で一萬のこと、娘を賣した奴は森泉と云ふ壯士あがり！金の二三百を捉ませたらば、明日にも中洲へ連れ戻れるで、此方からもその心配は御無用にと言ひたい。』

『それでこそ、手前ら周旋甲斐があると云ふものだが……まかり並つてグレ始になつたらば、大切な金策を棒に振る事になりますからな。』

『はッは、この高松翁平を御信用あれだ。今日先方と會見の結果、豫定通り一萬の現金が握れたらば、必ずくも明後日までには五萬にして見せよう。』

『こなれば、此方の貸金も綺麗サツパリに賠へませうな。』

『今まで延期々々になつた入合せ利息以外のお禮も忘れぬから。』

『だが、その世話も度々食はされると、おいそれと信用も出來かねるて。』

『何有、今何こそは間違ひなし。』

『何有、今何こそは間違ひなし。』

『だが、その世話も度々食はされると、おいそれと信用も出來かねるて。』

『何有、今何こそは間違ひなし。』

『だが、さうばかりも言はれませんぜ。』と、今日の猪狩は至極大まかに構へ込んで『何うせこゝまで出かけた次手、鳥渡目の保養をさせるとしては……稀には晴らしい景色でもなくては……』

『だが、さうばかりも言はれませんぜ。』と、今日の猪狩は至極大まかに構へ込んで『何うせこゝまで出かけた次手、鳥渡目の保養をさせるとしては……稀には晴らしい景色でもなくては……』

一萬の融通をするには、先方にも希望があればこそで。志保子さんの行方に就て、いくらか見當はつきましたかい。』

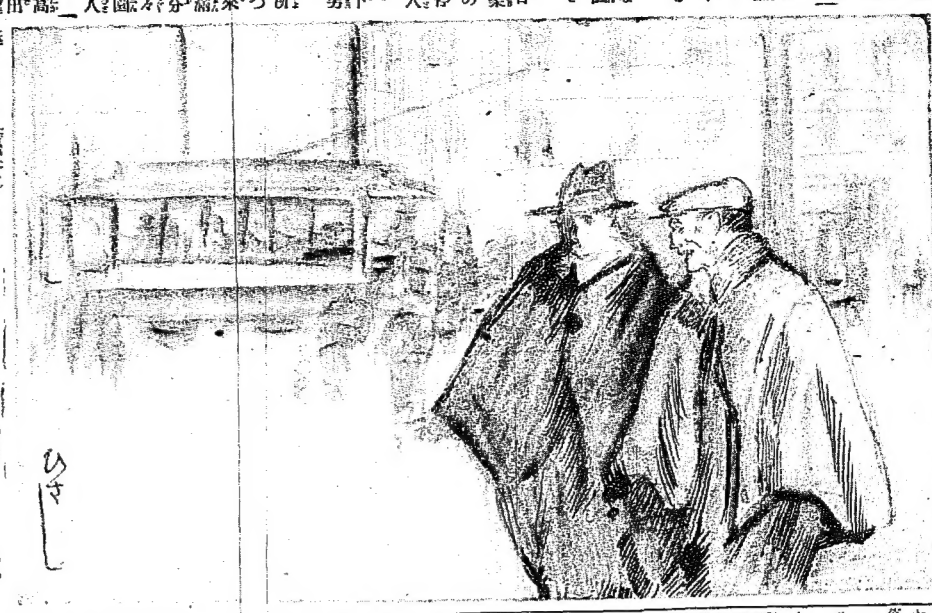
『大丈夫！義に依つて云々とは表面のこと、娘を賣した奴は森泉と云ふ壯士あがり！金の二三百を捉ませたらば、明日にも中洲へ連れ戻れるで、此方からもその心配は御無用にと言ひたい。』

『それでこそ、手前ら周旋甲斐があると云ふものだが……まかり並つてグレ始になつたらば、大切な金策を棒に振る事になりますからな。』

『はッは、この高松翁平を御信用あれだ。今日先方と會見の結果、豫定通り一萬の現金が握れたらば、必ずくも明後日までには五萬にして見せよう。』

『こなれば、此方の貸金も綺麗サツパリに賠へませうな。』

『今まで延期々々になつた入合せ利息以外のお禮も忘れぬから。』



書画用 紙画絹

京染呉服商 きや出張店 京城永樂町 電一一九六

古本買受 野村書店 京城明治町通り 御報参上 電話三〇五〇

復刻の頒分

▲復刻版は原本の通りに作製して貴重な古書を復刻して貴重な古書を復刻して貴重な古書を復刻